



くろみ 掛川倉真尾根道と龍尾神社しだれ梅ウォーク

2019.02.24 10.5km 短縮 7km

コースの概要

掛川PAでトイレと体操を済ませてウォークスタート。10分ほど歩くと**おいの久保池**という小さな池があり、ここを左折して緩やかな坂を上ります。上り坂は500mほどで、その後は下り坂です。少々足場の悪い場所もあるので杖を持っている人は使いましょう。下り切った場所が**真砂**です。ここからは**倉真川**沿いを上流に向かって**松葉神社**まで歩きます。神社で休憩後、元来た道に戻り、**百観音**を経て**掛川PA**で昼食です。短縮コースは**松葉神社**に行かず、真砂から**百観音**経由で**掛川PA**に行きます。出発地点に戻るのに必要な荷物はバスに置いたままでOKです。PAにはフードコートがありますので昼食の調達も可能です。

午後はバスに乗り、**大池橋**手前で下車してウォーク再開です。しばらく**倉真川**の土手を歩いて**大池公園**から**永江院**経由で**龍尾神社**に向かいます。しだれ梅の庭園散策や神社参拝はフリーウォークです。しだれ梅庭園の入園料は参加費に含まれています。短縮コースは**永江院**までバスで行き、以降は普通コースと同じです。

龍尾神社散策後は**北池公園**、**掛川城**経由でゴールの**大手門駐車場**まで歩きます。帰路は定番の**焼津さかなセンター**に寄りますが、近くの**朝比奈川**の土手に2kmにわたって河津桜が咲いていますのでここを散策します。

さかなセンターは17:00までとなっていますので、もし時間に余裕がない場合は割愛させていただきます可能性があります。その場合、トイレ休憩は東名高速のPAか桜祭り会場の仮設トイレを利用することになります。

行程表に書かれている時間内で進められるよう皆さんのご協力をお願いいたします。

参加者の皆様へ

- ・ 無断で単独行動をとらないようにしてください。
- ・ 主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- ・ スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- ・ 原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- ・ 一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- ・ 体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。

緊急時連絡

木ノ内由美子 090-8861-0204
松井 隆子 090-9910-2192

次回申込（昼食場所で） 伊豆急全線16駅ウォーク （ファイナル）

☆期 日 3月24日(日)
☆集 合 富士宮駅南口 6:30
☆参加費 4500円
☆切 3月19日(火)

コース

往路

富士宮駅＝新富士IC＝掛川PA(WC・体操)

8:00 9:10～25

ウォーク

掛川PA(スタート)・・・おいの久保池・・・真砂・・・松葉神社・・・百観音・・・掛川PA(昼食)＝

9:25 9:40 10:00 10:35～45 11:15～25 11:40～12:30

森掛川 IC＝大池橋手前・・・永江院・・・龍尾神社・・・北池公園・・・大手門駐車場(ゴール)

13:00 13:40 14:00～30 15:10

* 短縮コース: 午前は真砂から百観音を経て掛川PAへ

午後は永江院からウォークスタート

* 短縮コースは普通コースとは一部別行動になります。昼食後と龍尾神社の集合時間はこの工程表とは異なる場合がありますので総括の指示に従ってください。

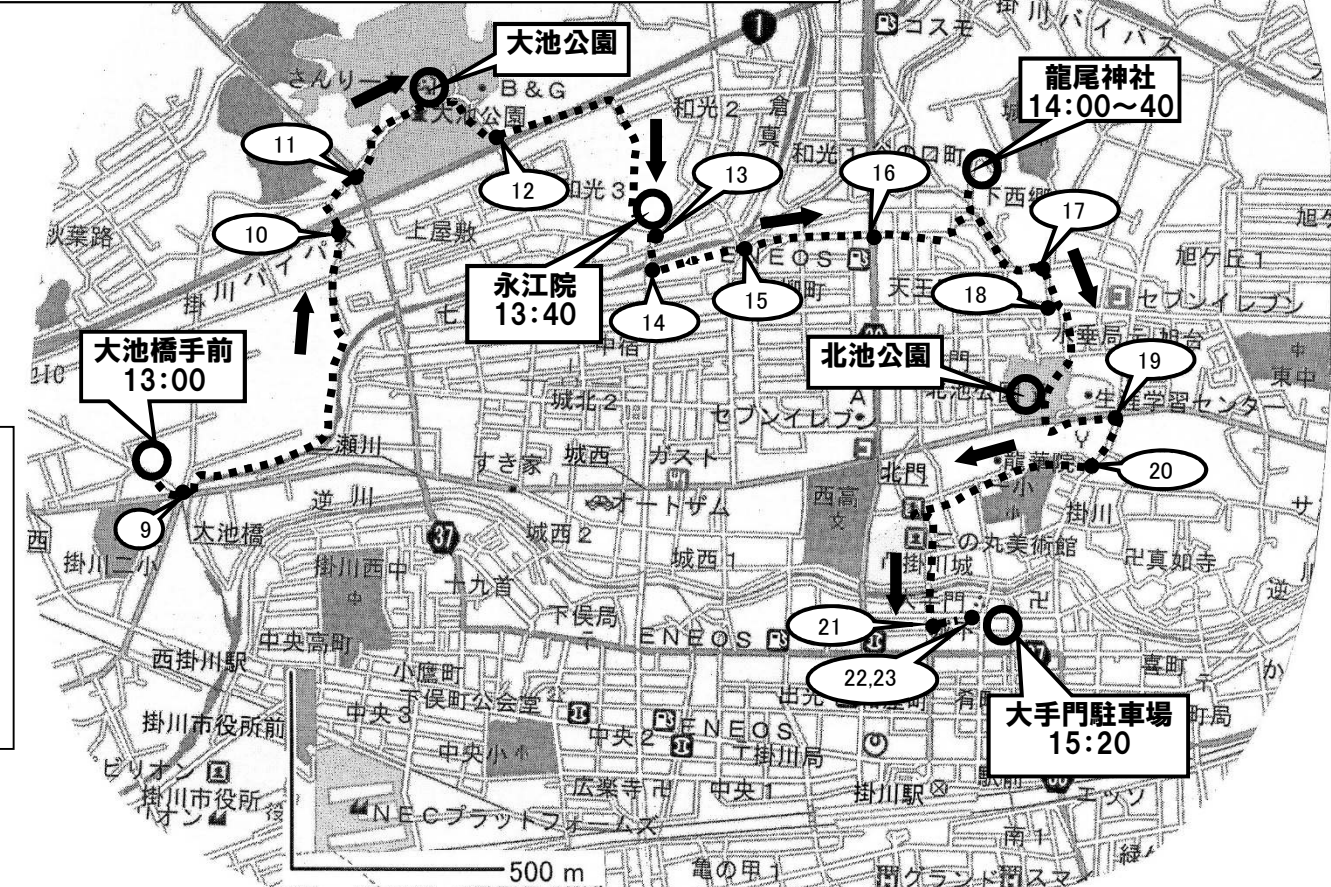
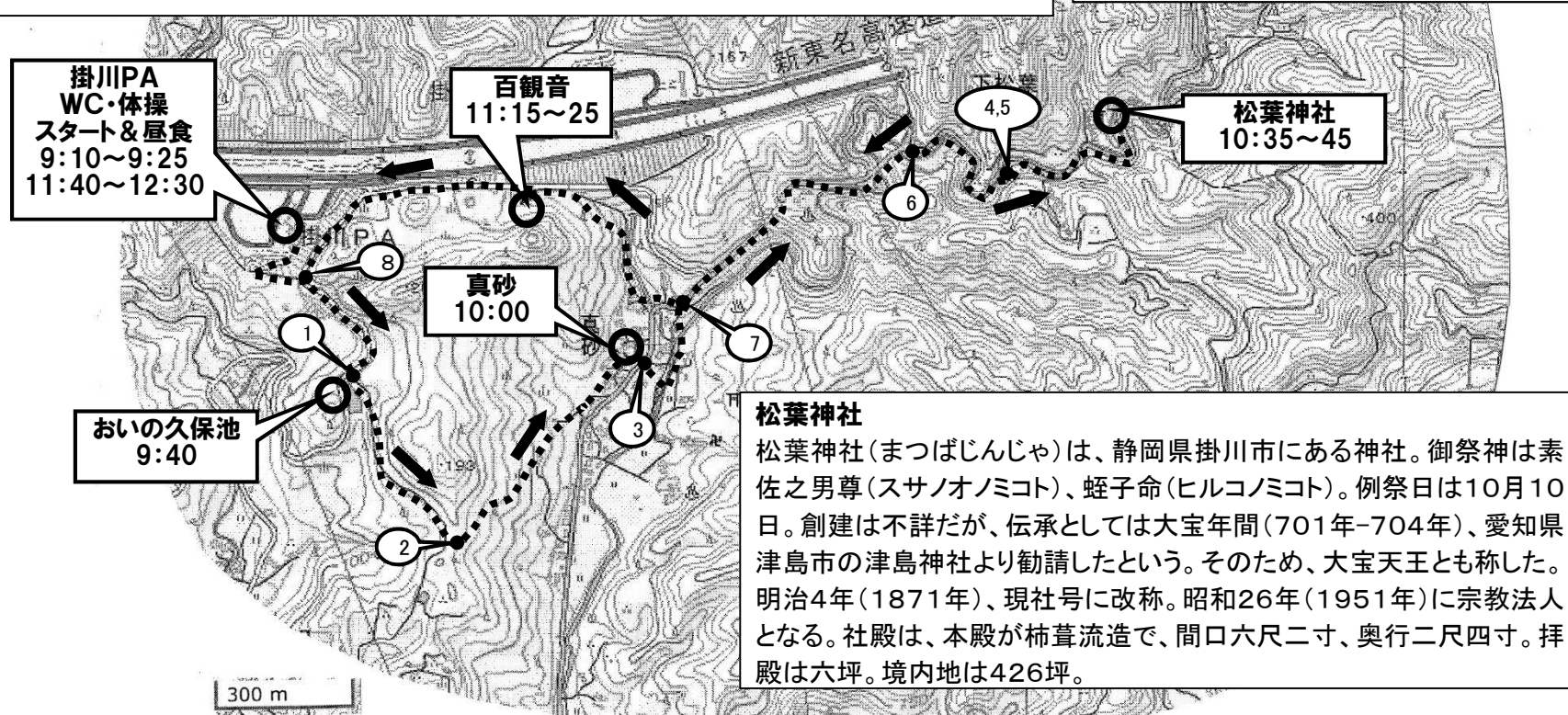
復路

大手門駐車場＝東名掛川IC＝焼津IC＝朝比奈川(河津桜散策)＝

15:10 15:50～20

焼津さかなセンター(WC)＝焼津IC＝富士IC＝富士宮駅

16:30～17:00 18:00



龍尾神社

素戔鳴尊(スサノオ)を祭神としており、櫛稲田姫尊(クシナダヒメ)とその御子神とともに祀っている。掛川城の北東(鬼門)に位置するため、その守護神として、山内一豊を初めとする歴代城主から崇敬を受けた。境内には花庭園という庭園があり、2月末には枝垂れ梅の、6月には紫陽花の花が咲く。また、一豊が高知城に移転すると、現在の高知市の薮野駅の近く(高知城から見て北東の郊外)にも龍尾神社が勧請され、前任地・掛川に因んで掛川神社と命名された。

百観音

「百観音」は、日清戦争に出征した村人の無事を願い安置された石仏である。日露戦争後、村人たち1人も戦死することなく戻り、観音様のご利益が評判となった。10年後の日露戦争の際は、評判を聞いた人々が観音様にお参りに訪れ参道はにぎわったという。しかし、その後の太平洋戦争により「百観音」は忘れ去られてしまった。昭和57年、山に埋まっていた百体の観音様が掘り起こされ、平成7年から8年にかけて「百観音」が復元された。現在は台湾や全国から寄進された180体以上の観音様が祀られている。